

参加報告 D1 佐々木

次世代挑戦的研究者育成プロジェクトの予算を用いて、11/12-11/14の3日間にわたって松江で開催された第46回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(USE 2025)に参加してきました。フライトの都合上、前泊と後泊を含めて5日間の出張となりました。

これまでに様々な学会へと参加させて頂いたことに加え、USEは二度目の参加ということで、発表もスムーズに行えたと思います。USEでの口頭発表は初めてだったのですが、会場が大きかったのもあり、聞きに来てくださる方が今までで最も多かったです。そのため、ディスカッションも活発に行え、得るものが大きい発表となりました。

2日目の夜に行われた懇親会では、日本酒がそれなりの数並んでいたのも、とりあえず片っ端から味わいました。当然ですが、非常においしかったです。少し酔いが回ってきたところで、タイミングが合わずなかなかお話できていなかった先生方と議論させて頂くことができました。その中で発表に対する様々なコメントのみでなく、直近に国内で行われるシンポジウムへとお誘い頂きました。

自身の研究に対する理解が深まってきたことに加え、これまで様々な学会へと参加させて頂いた経験から、ようやく学会で収穫を得て帰ってこられるようになったと思います。引き続き研究を頑張っていきたいと思います。

余談ですが、前泊と後泊をしたことにより、比較的時間に余裕がありました。学会前日は夕方に松江へと到着し、地元の人が集う居酒屋へと一人で向かいました。そこで仲良くなった名前も知らない常連さんと発表前日にもかかわらず二件目まで飲みに行きました。松江は居酒屋のポテンシャルが高く、非常に良い時間を過ごせました。

帰阪する日には、松江と出雲を観光しました。出張の際は、空き時間に現地の美術館や博物館に行くのが好きなので、今回は島根県立美術館に行きました。また、出雲大社にも伺い、諸々の願掛けもさせて頂きました。

